



8/16 陸自音楽隊によるハーモニー

市民会館で、陸上自衛隊第10音楽隊のメンバー 32人による「勝山DINOコンサート」が開かれました。

3年ぶりに市内で開催されたこのコンサートには約550人が参加し、美しいハーモニーを楽しみました。



8/21 被災地に寄り添う

熊本地震により大きな被害を受けた熊本県八代市の支援に勝山市職員が派遣することとなり、その激励会を市役所で行いました。

激励会では市長から激励の言葉が贈られ、派遣される松村主事は「誠心誠意頑張ってください」と抱負を述べました。



8/29 いつまでも自分らしく暮らす

認知症への理解を広め、認知症になっても住み慣れた勝山で自分らしく暮らすことができるように、認知症フェアを開催しました。

会場ではたけとう病院 武藤悠平先生による講座や認知症キャラバン・メイトによるシンポジウム、様々な体験コーナーが開かれ、参加者は楽しみながら知識を深めていました。



9/4 安全安心のまちづくりのため

福井県庁で、市長が石田知事に対して要望書を提出し、支援と協力を強く要望しました。

市では、将来のまちの姿「わいわい わくわく 安全安心のまち かつやま」の実現を目指し、国や県の政策にかかる要望や事業採択、財政的支援を求める要望活動を行っています。



要望の内容はこちら



第五次恐竜化石発掘調査始まる！ 調査期間は令和27年度まで

福井県による第五次恐竜化石発掘調査が今年度からスタートしました。



今回の調査は令和27年度まで20年間、約7,700平方メートルの範囲で行われる予定で、期間・面積ともに過去最大規模となります。

北谷町杉山の化石発掘現場では、1989年から2023年までに第一次から第四次の調査が行われてきました。これまで「フクイラプトル」「フクイサウルス」「フクイティタン」「コシサウルス」「フクイベナートル」「ティラノミムス」といった6種の恐竜と、鳥類の「フクイプテリクス」が命名されるなど、大きな成果を挙げています。

今回の第五次調査では、20年という長期計画のもと、5年ごとにエリアを区切って段階的・計画的に発掘を進められていきます。今年7月下旬からは、調査地域を覆っている立木の取り除き作業がスタート。安全のため取り除いた落石なども入念にチェックし、小さな化石も見落とさないよ

うに作業が進められています。

新たな恐竜化石の発見や、恐竜時代の勝山の環境解明に向け、期待が高まります。恐竜王国ふくい、そして恐竜のまち勝山の未来につながるこの調査へ、市民の皆さまのご理解と温かい応援をお願いします。

今年から始まった第五次恐竜化石発掘調査は、これまでの調査エリアに隣接する新たな区域を対象に、さらなる恐竜化石の発見を目指します。既に歯化石が確認されているヨロイ竜類やスピノサウルス科をはじめ、未だに多くの謎に包まれた未知の恐竜が当時の勝山には複数種いたと考えられています。新章がスタートした勝山での発掘における、こうした新たな恐竜をはじめとする様々な発見にどうぞご期待ください。



県立恐竜博物館
中田 主任研究員